

## マイナンバーカードのご利用に関する重要なお案内

### 1 マイナンバーカードの利用

- ① マイナンバーカードは、マイナンバー（個人番号）の提示が必要な行政手続等のほか、様々な場面で、顔写真付きの本人確認書類として広くご活用できます。
- ② マイナンバーカードの裏面に記載されている個人番号は重要な個人情報ですので、マイナンバー（個人番号）の提示が必要な行政手続等の場面に限り提示するようにしてください。

### 2 電子証明書の利用

- ① マイナンバーカードのICチップの中に電子証明書（「署名用電子証明書」及び「利用者証明用電子証明書」）を入れることができます。
  - 署名用電子証明書は、インターネット等で電子文書を作成・送信する際に利用します（例 e-Tax 等の税の電子申請など）。パスワードは6～16桁の英数字です。
  - 利用者証明用電子証明書は、医療機関受診時や、マイナポータルへのログイン、コンビニでの証明書交付などに利用します。パスワードは4桁の数字です。
- ② これらの電子証明書はスマートフォンやパソコンにつないだICカードリーダにカードをかざして読み取ることが可能です。

マイナンバーカードに対応したスマートフォンはこちら

<https://www.jpki.go.jp/prepare/pdf/nfclist.pdf>



※ご自宅のパソコンから利用する際には、ICカードリーダや「利用者クライアントソフト」等が必要になります。ご利用方法は、公的個人認証サービスポータルサイト (<https://www.jpki.go.jp/>) をご確認ください。

- ③ マイナンバーカードのICチップに搭載されている署名用電子証明書を使って、お持ちのスマートフォンに電子証明書を搭載することができます。スマートフォン用の電子証明書はマイナポータル (<https://myna.go.jp/>) から発行が可能です（※）。

※市区町村窓口では発行できません。また、現在はAndroidスマートフォンのみ対応しています。

### 3 暗証番号の取扱い

- ① マイナンバーカードに設定した暗証番号は他人に知られないように十分注意してください。  
市区町村の窓口で配布された用紙等に記録し、大切に保管してください。
- ② 署名用電子証明書の場合5回、利用者証明用電子証明書の場合3回、暗証番号を連続して誤ると電子証明書が利用できなくなりますので、注意して下さい。 ロックの解除は住民票のある市区町村の窓口申請する必要があります。ロックの解除手続後24時間後から使用できます。署名用電子証明書の暗証番号については、コンビニのキオスク端末で暗証番号の初期化を行うことが可能です。ただし、この場合、利用者証明用電子証明書の暗証番号が必要となりますのでご注意ください。

### 4 引越等に伴う手続

- ① 引越や婚姻等により、氏名、住所等の券面記載事項に変更が生じた場合、転入届や婚姻届等の提出に

併せて、マイナンバーカードを市区町村の窓口にお持ちください。新たな住所や氏名等をカードの追記欄に記載します。また、署名用電子証明書はこれらの記載事項に変更が生じると自動的に失効しますので、窓口において新しい署名用電子証明書の発行手続きを行ってください。なお、利用者証明用電子証明書は、引越や婚姻等によっても失効しません。

- ② 引越の際に、転入届を提出してからカードの情報を変更せずに 90 日が経過した場合、カードが失効しますのでご注意ください。また、引越の際、転出届を提出してから転入先に転入届を行わず、転出予定日から 30 日を経過した場合又は転入日から 14 日以上経過してから転入届をした場合にも、カードが失効します。失効に伴う再交付の際には、原則手数料（1,000 円）が掛かります。

## 5 マイナンバーカード・電子証明書の有効期間

- ① マイナンバーカードの有効期間は、18歳以上の方は発行日後10回目の誕生日まで、18歳未満の方は発行日後5回目の誕生日までとなります。
- ② 電子証明書の有効期間は、発行日後5回目の誕生日まで又はマイナンバーカードの有効期間までになります。なお、有効期間についてはカードのおもて面に記載する欄がありますので、お忘れにならないようにご自身でご記入いただくか市区町村の職員に記入をご依頼ください。
- ③ マイナンバーカード・電子証明書は、有効期間の満了の3ヶ月前となる日の翌日より更新を行うことができます。マイナンバーカードや電子証明書が有効期間切れによって失効すると、医療機関の受診時等にマイナンバーカードを利用できなくなります。有効期間が切れる前に更新の手続きを行ってください。電子証明書の更新は、住民票のある市区町村の窓口へ来庁する必要があります。

## 6 マイナンバーカード紛失等の場合の対応

- ① マイナンバーカードを無くした場合には、直ちに以下の電話番号（紛失等の場合には 365 日 24 時間対応）に連絡し、マイナンバーカードの電子証明書等の機能の一時停止を行ってください。併せて住民票のある市区町村の窓口で紛失等の届出を行ってください。
- ・マイナンバー総合フリーダイヤル（無料） 0120-95-0178
- なお、マイナンバーカード機能の一時停止後にカードが見つかった場合、住民票のある市区町村の窓口で一時停止の解除を行えます。
- ② マイナンバーカードを紛失等し、または著しく損傷した結果、カードの再交付を希望する場合には、原則、住民票のある市区町村の窓口で再交付の申請を行っていただく必要があります。その際、紛失の場合は警察署等から出される遺失届（遺失届受理番号が記載されているもの）を、焼失の場合は消防署等から出される罹災届をお持ちください。また、著しく損傷したマイナンバーカードについては、窓口までお持ちください。なお、紛失等に伴う再交付の際には、原則手数料（1,000 円）が掛かります。

## 7 マイナンバーカードの取扱い上の注意事項

- ① 熱によるカードの変形やカードに内蔵されている電子部品が故障する場合がありますので、以下のとおり高温や物理的な力に注意してください。

- ・自動車の中や暖房器具の近くなど高温下での保管や放置をしないこと
  - ・洗濯機、乾燥機に入れたり、衣類に入れたままアイロンをかけないこと
  - ・カードを落とす、読み取り装置に押しつけて曲げる、カードの上に物を落とす、突起物や金属などの硬いもので傷つけるなどにより衝撃を加えないこと
  - ・ICチップ部分に対し、指で触れる、汚す、押す、曲げる、鞆や手提げの中で硬貨・ペンなどと一緒にするなどにより衝撃等を加えないこと
  - ・カードを入れた財布をズボンの後ろポケットに入れた状態で座ったりしてICチップ部分に局所的な荷重をかけないこと
- ② カードの顔写真が剥がれるなど券面情報が損なわれることがありますので、以下のとおり薬品や液体等に注意してください。
- ・化粧品の一部（除光液、マニキュア、ハンドクリームなど）、スプレーの一部（可燃性表示のあるもの）、ガソリン、灯油、ライターオイル、エンジンオイル、殺菌用アルコール、筆記の修正液など、薬品や液体で濡らさないこと
  - ・水に濡れた状態で使用しないこと
  - ・塩化ビニール製品（パスケース等）に直接触れさせないこと
- ③ カードの裏面にある磁気ストライプの磁気情報が消失する場合がありますので、以下のとおり強い磁気に注意してください。
- ・テレビ、スピーカー、冷蔵庫、携帯電話、マグネット付きのハンドバッグ・財布・スマートフォンケース、磁気ネックレスなど、強い磁気を発するものに近づけないこと
- ④ ①～③に注意していなかった場合、ICチップや磁気ストライプ等の不具合に伴うカードの再交付には手数料（1,000円）が必要となります。

## 8 暗証番号不要のマイナンバーカード

暗証番号の設定を不要とし、カードに搭載された利用者証明用電子証明書を用いる際の本人確認方法を顔認証又は目視に限定した「暗証番号不要のマイナンバーカード」を希望された場合、このカードは、暗証番号がロックされているため、マイナポータルや各種証明書のコンビニ交付など暗証番号が必要なサービスでは利用できません。

カードに記録されている顔写真を用いて顔認証又は目視による確実な本人確認を行った上で、オンライン資格確認ができ、医療機関・薬局を受診等することができます。

## 9 その他

以上のほか、マイナンバーカード及び電子証明書の利用に関する情報については、以下のサイトをご参照ください。

- ・総務省 マイナンバー制度とマイナンバーカード [https://www.soumu.go.jp/kojinbango\\_card/](https://www.soumu.go.jp/kojinbango_card/)
- ・地方公共団体情報システム機構 マイナンバーカード総合サイト <https://www.kojinbango-card.go.jp/>
- ・公的個人認証サービスポータルサイト <http://www.jpki.go.jp/>

# コンビニ交付サービスの利用に関する留意事項

## ●取得できる証明書の種類

住民票の写し、印鑑登録証明書、所得証明書、課税（非課税）証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し

※戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写しは、摂津市に「住所」と「本籍」がある方に限り取得できます。

※取得できる証明書は、最新のものとなります。除票や除籍などが必要な場合は、摂津市役所市民課②番窓口までお越しください。

## ●利用できる店舗

セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、イオン、平和堂、マックスバリュ西日本

※摂津市内に限らず、全国の店舗で利用できます。

※店舗内に設置されている「マルチコピー機」を操作して、証明書を取得することになります。

店舗にもよりますが、スーパーでは、サービスカウンター付近に置いていることが多いようです。

## ●利用できる時間

6：30～23：00 ※土日祝日も含む。年末年始（12月29日～1月3日を除く。）

※戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写しは、平日9：00～17：15となります。

※サーバーメンテナンス等の保守点検のため、利用できない場合があります。

## ●その他注意事項

- ご利用にあたっては、個人番号カード（原本）と4桁の数字の暗証番号（利用者証明用暗証番号）が必要です。
- 本サービスは、マイナンバーカードの交付を受けた日の翌日以降からご利用できます。
- コンビニなどで取得した証明書については、交換や返金に応じることができません。
- 条例などにより手数料が免除となる場合でも、コンビニなどで取得する場合は手数料がかかります。
- 市役所の窓口で取得できる証明書とは、用紙が異なります。
- 出力する証明書が2枚以上(例：住民票の写しで5人以上の世帯)の場合、窓口での証明書と異なり、ホチキス留めされませんので提出時にはご注意ください。
- カードに設定されている暗証番号は、連続で3回間違えるとロックがかかる仕組みとなっています。ロックを解除するには、ご本人がカードを持って摂津市役所市民課⑤番窓口までお越しいただく必要があります。ロックを解除した日の翌日以降からご利用できます。
- 住所の異動届や戸籍届を提出した場合は、届け出た内容が証明書に反映されるまでに時間を要しますので、ご注意ください。

## ●コンビニ交付について

詳しくはコンビニ交付サイト (<https://www.lg-waps.go.jp/>) からご確認いただくか、摂津市市民課コンビニ交付担当（電話番号：06-6383-1360）まで直接お問合せください。